

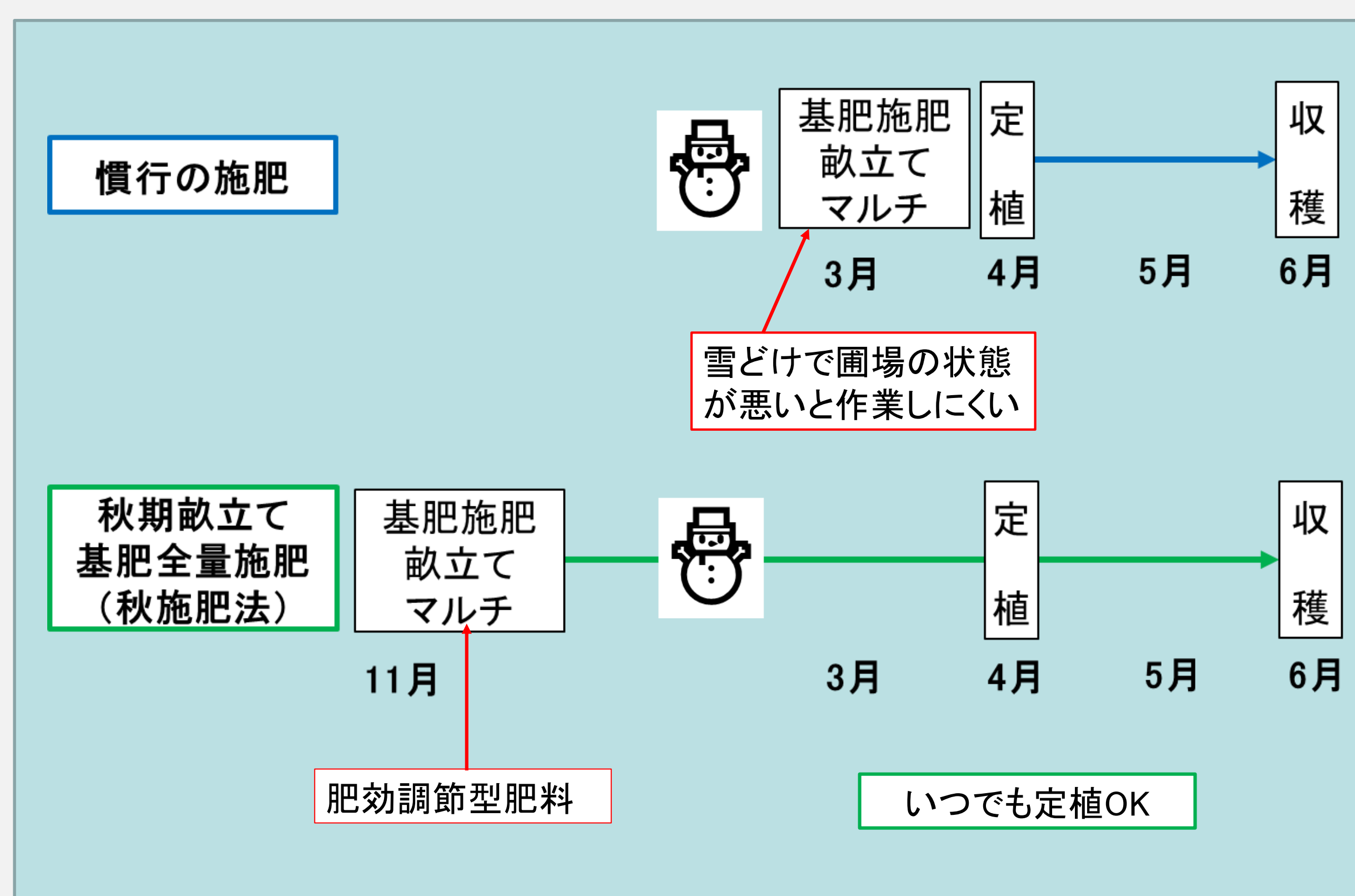
晩秋に準備する、肥効調節型肥料を活用した初夏どり（加工用）ハクサイの施肥法を開発

農林センター

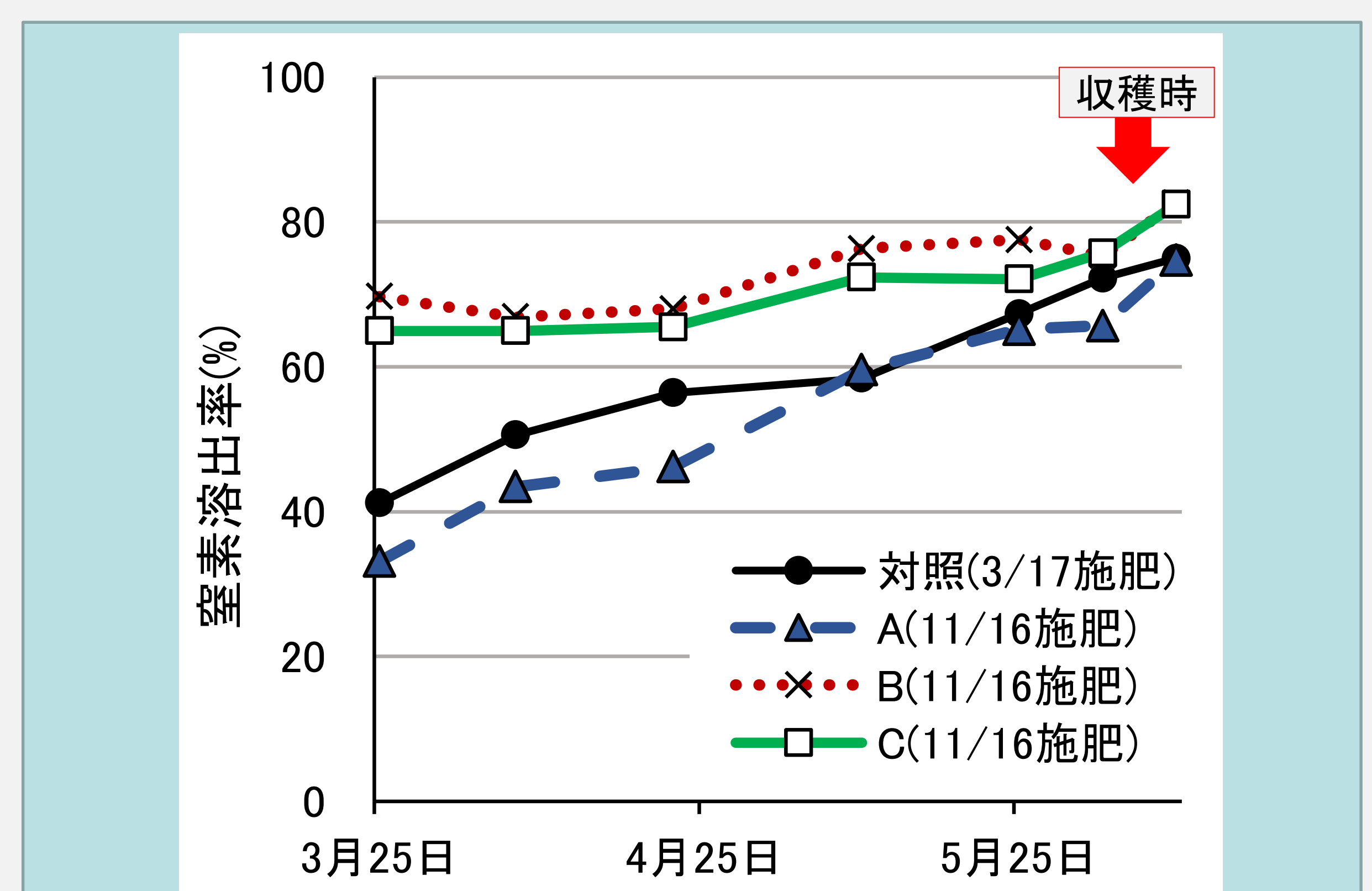
問い合わせ先: 農林センター環境部 0771-22-6494

主な成果 ● **肥効調節型肥料**を活用し、雪どけの影響なくハクサイを定植できる新しい施肥法「**秋期畝立て基肥全量施肥技術（秋施肥法）**」を開発しました。

● **秋期畝立て基肥全量施肥技術（秋施肥法）**とは

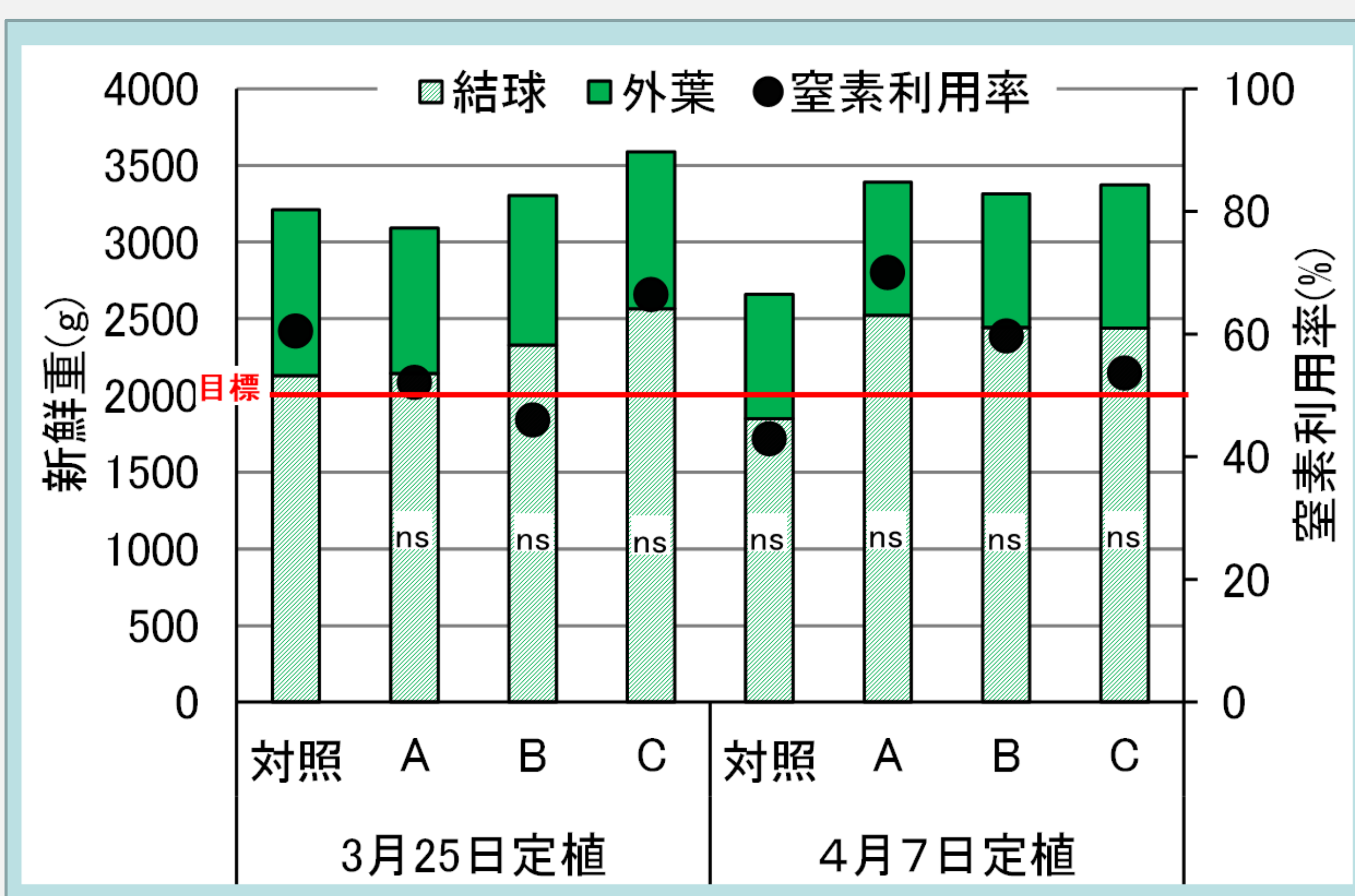


● 肥料の窒素成分は、ハクサイ収穫時には75～80%が溶け出ていました。



● 肥効調節型肥料A～Cを用いた秋施肥法で、対照と同等の結球重に。

● ハクサイの外観・品質も対照と同等になりました。



期待される波及効果

- 慣行の施肥法と比べ、春先の圃場条件に左右されない**定植準備作業が可能**。
 - 従来よりも**定植を前倒し**できるため、作期の幅が広がる。
- それにより、収穫期の分散を目指せる。